

令和五年 新春 丸岡城

元朝士口祥



1月8日(日)

9:30～13:00頃

丸岡城天守とその周辺

大雪・悪天候の場合、内容を変更することがあります

9:45～ 城のまちコミュニティセンター出陣

10:00～ 神事 【お天守前公園】
神事終了後、お神酒(淵龍*)ふるまい
※50名限定。城小屋マルコにて

10:30～ 稽古始め 【お天守前公園】

11:00～ 丸岡城鉄砲隊による
火縄銃演武①【お天守前公園】

11:45～ 丸岡城鉄砲隊による
火縄銃演武②【お天守前広場】

12:15 演武終了



安全確保のため、鉄砲隊から離れた場所からの観覧をお願いいたします。
※「淵龍」とは米どころ坂井町兵庫で育てた酒米“神力”を使った幻の地酒
(飲酒運転は絶対におやめください)

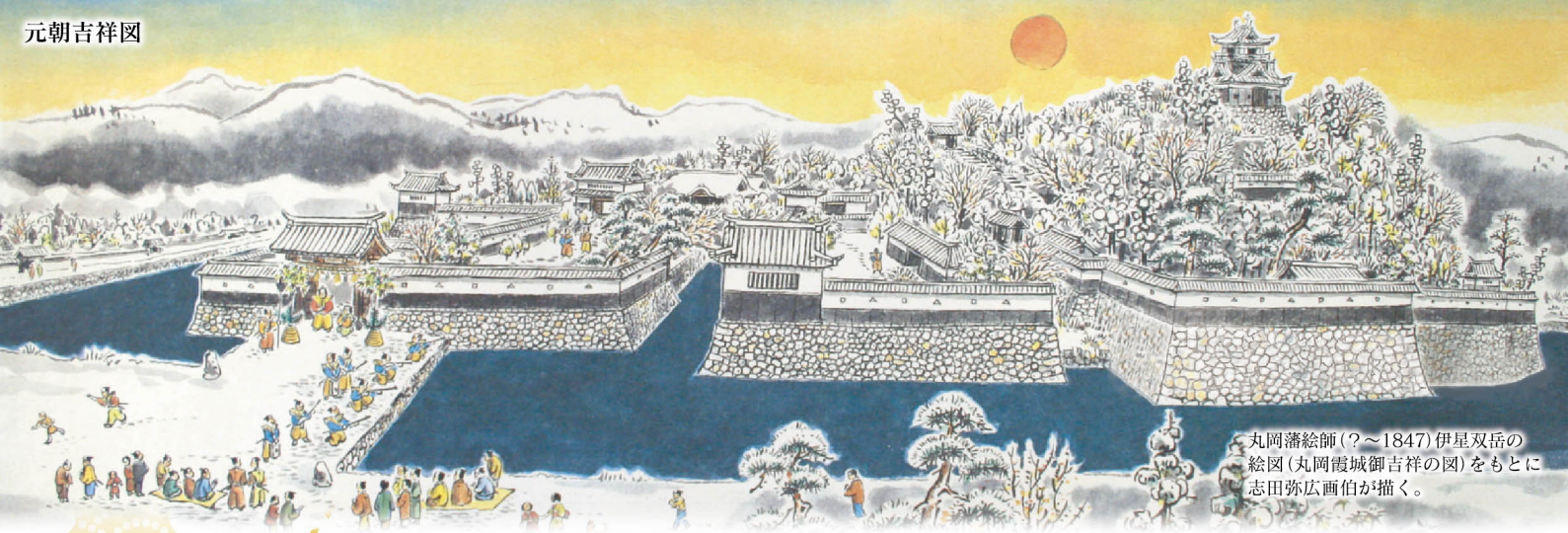
豊原そうめん ふるまい

丸岡城のルーツである豊原寺で昔から食されていた**豊原そうめん**を現代に甦らせて食していただきます。

《無料! なくなり次第終了です》



元朝吉祥図



丸岡藩絵師(?~1847)伊星双岳の
絵図(丸岡霞城御吉祥の図)をもとに
志田弥広画伯が描く。

丸岡藩国表大手門前 元朝 吉祥之図について

かつて丸岡藩有馬家では、国表(くにおもて)の大手門前にて、

元旦の明け六ツ時「午前六時頃」の時太鼓打ち切りを合図に、

火縄銃による祝砲を五発、西の方に向け打ち放す式を行いました。

これを「吉祥(きつしょう)」と云い、他国に比類なき嘉例とされてきました。

この式の起源は、有馬家十五代、左衛門佐直純(さえもんすけなおずみ)公

〔日向国延岡藩主〕が大坂冬の陣(慶長十九年十月~十二月)に出陣し、

延岡へ帰陣の折、瀬戸内海の船の中にて越年せし時行ったのが始まりと云われ、

以後、御家大事、戦勝祈願を込めて元朝の儀式として伝えられました。

有馬家の御軍法鎮西備の事に五十発と記されていますが、

略して五発としたものと思われます。

また、一月七日の藩中の稽古初めにも同じ場所にて十七発を放ちました。

元治二年(一八六五年)元旦、丸岡藩城主(道純公)自ら長州征伐出陣の時にも、

出雲国松江領竹屋村安国寺の陣屋にて、この儀式を行なった記録があります。

当時の丸岡城下の民歌に「とん、とん、とん、とん」と、

ととん、とん、とんと、とんと、一万石の御加増なり」とあります。

ご参加される皆様へお願い

新型コロナウイルス感染予防の取り組みとして、マスク着用・手指消毒等へのご協力をお願い致します。

主催：(一社)丸岡城天守を国宝にする市民の会

お問い合わせ：丸岡バスターミナル交流センター TEL 0776-50-3084 Mail maruokabusta@vesta.ocn.ne.jp

※新型コロナウイルスの感染状況や天候に応じて中止・変更にする場合があります。

中止の際は右記インスタグラムを通じてお知らせ致します。



MARUOKABUSTA